

GIGA スクールをめざす学びの姿

- ◇一斉授業では
教職員は、授業中でも一人一人の反応を把握し、子どもたちの反応を踏まえ双方向型の一斉授業をめざします
- ◇個別学習では
各自が同時に別々の内容を学習し、一人一人の教育ニーズや学習状況に応じた個別学習をめざします
- ◇協働学習（グループ学習など）では
一人一人の考えを同時に共有したり、子どもたち同士で双方向の意見交換ができる学習活動をめざします

現在の各学校での取り組み

訓子府小学校



算数の授業では、タブレット端末とデジタル教科書を活用しています

居武士小学校



理科の授業では観察した植物をタブレット端末で撮影し、活用しています

訓子府中学校



グループ学習やオンラインアンケートへの回答で活用しています

教職員



ICT を効果的に活用するため、各小中学校の ICT 担当の先生と教頭先生、町教育委員会で組織する「訓子府町 ICT 活用推進会議」を設置し、ICT 活用の手引きの作成や研修内容の決定、授業支援ソフト「ロイロノート」などの各ソフトについての合同研修や各学校での校内研修、研究授業など進めています

※上記で紹介した内容以外にも多くの授業や活動でタブレット端末を活用しています。

子どもの声



タブレット端末を使うと授業が楽しい。すぐに調べられるので便利。意見を共有できる。画面を拡大して見ることができるので良い

先生の声



教室全員の考えがタブレット端末を通じて把握できるので、発表や話し合いに役立つ。写真や動画によって分かりやすい授業ができる

■ 問合せ 教育委員会管理課 (☎ 47-2122 役場 2 階 窓口 14 番)

教育現場での ICT 活用へ

一人一人の能力育成に



インターネットでの買い物、スマートフォンなどで家族や友人に写真やメッセージを送るなど、ICT（情報通信技術）が私たちの暮らしの中で身近なものになりました。

町内の小中学校では、国が進めている「GIGA スクール構想」によって、4月から1人1台のタブレット型パソコン（以下「タブレット端末」）を導入し、これまでの教育に最先端のICTを取り入れて、子どもたちの学習活動の充実を図っています。

GIGA スクール構想とは

1人1台のタブレット端末と、教室でインターネットが接続できるよう Wi-Fi 環境を整備することで、子どもたち一人一人に最適な学習を提供し、資質・能力を確実に育成できる教育環境を整備することです。

国が令和元年に GIGA スクール構想を発表したときは、令和5年度までに子どもたち一人一人が1台のタブレット端末を持って学習できるように取り組みを進める予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大への対応のため、GIGA スクール構想は加速しました。

町では、令和3年度から運用を開始しています。



※ GIGA とは「Global and Innovation Gateway for All」の頭文字で、「全ての児童生徒のための世界につながる革新的な扉=全ての児童生徒へ教育 ICT 環境を提供する」を意味します。

Q 学習はどう変わるの？

A 子どもたちの興味・関心や習熟度に応じた学習とさまざまな人と協力しながら課題解決するなど「新しい学び」ができるようになります。鉛筆やノートと同じようにタブレット端末を使っていきます。

Q どんな力がつくの？

A ①必要な情報を調べ、学びを振り返る「自らの問いを持ち、学ぶ力」
②プレゼンテーション機能を活用して「自分の考えを表現する力」
③互いの考えの共有が容易になり自分の考えを深めることができる「他者と協働し、解決する力」

Q どのように進んでいくの？

A ①パソコンの操作ができる
②どの教科でも使える
③教科の学びを深め学びの本質に迫る
④教科の学びをつなぎ、課題解決の力をつける

